

コミュニティ ふん

私と人とまちの間に

2016.MAR
108号

3

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

お父さん、出番ですよ。

- 2 うどんづくりで故郷づくり
- 3 お父さん、緑のチャレンジ
- 5 ひとつ上ゆく、まちの楽しみ方
- 7 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ~これって、みんなの問題~
- 8 みんなとめん・めん みんなで盛り上げるセンター
- 9 より道こ道 「野路の古道 ~旧街道の街並み~」
- 10 事業団からのお知らせ
- 11 見つけてスッキリ! / ボイス
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第20回 「たり苦しい」 その1

ママ、歌って!

草津コミュニティ支援センターで行われている「まちのちっちゃな図書館」で出会った笑顔です。この日は外国絵本の読み聞かせ。“英語”って聞いて固まるのは大人だけ。いや、私だけ。楽しいリズムに合わせて♪タンタンタン♪ ママのお膝で♪タンタンタン♪ 子どもの笑顔は世界で一番のプレゼント、って思うのは私だけじゃない。

梅・桃・モクレン・桜と春の知らせが次々にやってきて私たちの目を楽しませてくれます。ことのほか桜は桜餅・桜鯛とくらしなど身近な食材に結びつけ親しんでいます。若葉も濃くなり命がいきいきと輝く。いよいよ心踊るような季節がやってきます。

2016 MAR
108号

3



FEATURE

うどんづくりで故郷づくり 小野山麺づくりの会

小野山は市内で最も世帯数が多い野路町にあります。幹線道路がすぐ横を通っているとは思えない静かな住宅地。集会所を真ん中にして、ぐるりと85軒の家が並びます。まるで集会所をちゃぶ台にして、まちが一つの家族のように向かい合っているように思えるのには理由があります。

いつかは近所みんなで

晩ごはん

「子どもたちが巣立ち、今や夫婦二人で暮らす家がほとんど。そのうち、どちらかが亡くなって独り暮らし。一人の食事なんて味気ないじゃない。それならこの集会所で晩ごはんをつくって、みんなで食べれたらなあ、って考えたりします。人生の最後は近所の皆が寄って、皆で見送る。そんなまちになれたらなあ、って、ね。」

働き盛りの20〜30代が一斉に入居してきた小野山も早40年。気がつけばみんな60〜70代になっていました。「この集会所も昔はほとんど使っていなかったけど、今は色々なサークル活動で毎日フル稼働。でも活動しているのはほとんどが女性。男性は家で何をしているのかしらねえ。」ほがらかに笑うのは、小野山麺づくりの会の永田さん。そうです、このまちの困りごとの一つが、定年後の男性のまちとのつながりづくりでした。

出不精になった男性たち

子育てや学校活動、はたまた井戸端会議と普段から近所つながりをつくっていた女性に比べ、どうも男性は近所つきあいが難しい。定年で出不精となった男性を家から引っぱり出した…。そんな時、社会福祉協議会の催しで「鳩が森の会」に出会いました。「男性たちがね、赤いエプロン着けてうどんをつくっていたの。活き活きしている様子に『これだ』と思って小野山まで教えにきてもらったんです」。こうして「小野山麺づくりの会」が生まれたのが平成26年3月のこと。今では男女9名ずつ、18名で活動しています。中には夫婦で参加している人もいますが、誰と誰がご夫婦かわからないほど、みんなが好きなことを言い合い、なんと賑やかなことか。

「現役のところはこのまちのことも、ご近所さんの顔さえわからなかつたんです。そんな出不精が今はうどんにはまっています。まさか自分がうどんをつくるなんて

思ってもみなかったですね。

粉を練るのは結構、力が必要で男性に向いているんです。『365歩のマーチ』なんか歌いながらね、楽しく粉を踏んでいきますよ。もつともっと美味しいうどんを追求したい」とは、この前まで出不精だったと自称する丸山さん・中山さん・竹内さん。

今から、元気なうちに

男性がうどんを練る傍ら、女性もダシや具づくり。特にかつおも昆布もたつぷり入れたダシの味は一流と評判です。ここで活躍するのは近所の料理上手な主婦。ダシの取り方からかき揚げの揚げ方のコツまで、ちょっとした料理教室のよう。みんな感心しきりです。うどんは町内の行事で振る舞うほか、依頼があるとデ



イサーピスやイベントなどにも出向きます。3年前からは町内の地域サロンの新年会でも振る舞っています。「うどんの麺は一日寝かすことで格段に美味しくなる」と前日から準備を始める麵々、いや面々。いつもはバスタマシんで麺を切りますが、今日は初めて麺切り包丁に挑戦。「こりゃ、きし麺やな。こっちは素麺。みんなに希望を聞かなあかんわ」とみんなで大笑い。掃除機のコードが抜けても、また大笑い。とにかく笑い声が絶えません。

「このまちでも、夫婦だけになつたり連れ合いを亡くしたり





FEATURE

お父さん、緑のチャレンジ

志津南緑化ボランティアの会

緑に囲まれた閑静な住宅地若草。豊かな緑がまちに潤いをもたらし、なんとも優しい表情をつくります。この「緑のまち」も早30年が経ち、ちよつと困ったこともあるようです。ま
ちの困りごとに向き合つお父さんたちの奮闘ぶり、ご紹介します。

して、子どもの家や近所のマンションに引越す人も始めめました。この歳になつて慣れない土地に行くのはやっぱり難しいですよ。水が合わなかったのか、引越してすぐに亡くなった人もいます。自分たちもあと5〜10年もすれば連れ合いを亡くしている。元気がうちから近所で仲良くして

おかないとね。家族とか夫婦に捉われず、誰とでも気安く話せる関係を今からつくらないといけない。出会えば声を掛けあえる、人の旦那にだつて冗談言つたり、何かお願いできる間柄つて、大切にすることだと思います」と永田さん。

詞と長野県の地図。「？」と思わずシャッターを切つてると70歳代の男性が話しかけてくれました。「私はね、長野県の小布施村つてとこの出身なんです。隣町には、故郷や、朧月夜を作詞した高野辰之がいます。私もね、こころざしをはたしていつの日に帰らんつたように、いつか故郷の長野に帰るつもりでした。でもね、もうこの小野山で骨をうづめることに決めましたよ。長

野の家もないしね。今日はみんなで、故郷を歌うつもりなんですよ。」
さあ、うどんができたようですよ。食べましょう、歌いましょう、みんなです。

永田桂子さん

高齢化。見えだした問題

若草、岡本町西を中心に活動する志津南緑化ボランティアの会。「若草のまちができて30年。ご多分にもれず高齢化が進んでいます。今では65歳以上が800人以上、60歳以上でみると1100人を数えます。これだけ高齢化が進むと従来のやり方では難しい問題が出てきました。その一つ

が「緑の保全」です。一斉清掃だけでは追いつかないのが実情。それは各家庭でも同じことなんです」

若草では緑道や公園などの公共空間に加え、各家においても緑化協定が結ばれています。緑の垣根や植え込みが巡らされることで、あの景観が保たれているわけですね。しかし「緑の手入れ」は意外と重労働。高齢になると

尚更、厳しい状況となります。維持管理費用もかかります。もう一つ、若草に目立ってきた問題、それはチラホラと増えだした空き家。転勤や高齢化に伴い、人も増えてきたとか。完全に売り家にならずに、転勤などで一時だけ主のいない状況になっている家でも手入れされない状況も見られます。つまり公共空間と

個人空間、両方で緑の保全、景観の維持が難しくなってきました。まちの景観を保つことは、そのまちの価値を保つことにもつながります。今、この問題に取り組んでいるのが「志津南緑化ボランティアの会」垣根剪定グループ含む。約50名の大部分は定年後のお父さんたちです。





降矢義夫さん

写真：大條紘史
(編集ボランティア)



舟木要一さん



業者さんと間違われるほどに

会の活動は多岐にわたります。若草にある8か所の公園では樹木剪定だけでなく砂場の天地替えまでします。夏場の植栽への水やりには苦勞させられます。年間3〜4回ある一斉清掃では住民の高齢化もあり、前もって機械で前捌きをしておきます。加えて近年は通学路や調整池での剪定・除草。まちを流れる伯母川では数年前の冠水を機に川底の草や泥の除去まで行います。胴付長靴を履いて作業する様を、住民が業者さんと間違ったというのうなずけるほどの重労働です。

もちろん住民からの依頼があれば個人宅の垣根剪定にも応じます。空き家となった家の緑が伸

び放題で隣家から依頼され、家主の許可をもらって切ったことも。高齢化は高齢者宅や独居世帯を増やしていき、ますます緑の維持は大変になります。枝を切るのも大変、切った枝をゴミ袋に入れるのも大変、それを処分するのはもつと大変。依頼の仕方がわからなかつたり、空き家などでは個人資産の問題もあり、善意だけでは難しいことも出てくるので、今は民生委員さんと連携をとることも検討中だとか。昨年度の緑化ボランティアの会(垣根剪定グループ含む)の活動日は延べ78日・645人というから、いかに必要とされた活動かがわかります。

お父さんにハマった緑の手入れ

これだけの活動をみると何とも大変な作業です。もちろん大変だけど、お父さんたちは意外と楽しんでいきます。まちがきれいになること、みんなでやり遂げたときの達成感、なにより自分たちのできることでまちの役にたち、住民に喜んでもらえることは、やりがいにつながるようです。

取材した降矢さんと舟木さんも若草に住んで30年、町内の役が回ってくるまで町内のことはもちろん、環境にも緑化にもまっ

たく無関心だったと言います。一斉清掃だって奥さんに任せっぱなしだったとか。以前はまちのことに関心も、割く時間もなかつたお二人ですが、この活動でまちに仲間ができたこと、顔を合わせれば会話ができるようになったことが何より嬉しいとか。中には活動から発展して趣味仲間になつた人もいます。また50人もいると、まちの情報も自然と耳に入るようになりました。夏場に痴漢が出たと聞き、バトロールも始めました。仲間とのコミュニケーションがまちを守り、まちづくりへと発展しています。程よい作業と会話と達成感が伴う「緑の手入れ」は、お父さんたちにピッタリときたようです。

会には今、夢があります。地元小学校から依頼を受けた休耕畑を復活させ、子どもたちが野菜を育てられる環境を整えること、先ほどの伯母川で再びホタルが飛び交うこと。お父さんたちは、きつとどちらも実現させてくれるでしょう。これから高齢化を迎える住宅地が多い草津において、お父さんたちのチャレンジに目が離せません。



ひとつ上ゆく、まちの楽しみ方 おとこの出番

定年を迎えられたお父さん、お帰りなさい。お仕事、本当にお疲れさまでした。さて、突然ですが、あなたには今、近所や仕事とは関係なく「仲間」と呼べる人はいいますか。趣味以外に「出かける場所」はありますか。一度してみたかったことって何ですか。
矢倉市民センターに何とも愉快なおじさんサークル「おとこの出番」があります。お父さんたちの好奇心をくすぐる、何かを探します。

「したいことと
できること」

男性だつて地域の中で楽しく学び、仲間づくりをしよう」と平成13年に矢倉公民館で行われた「男性いきいき講座」がきっかけでした。担当した職員さんの声かけもあり、翌年に参加者有志で立ち上げたのが「おとこの出番」。月一回ペースの活動が15年経った今も続いています。メンバーの入れ替わりは多少ありますが、定員は今も昔も25人。現在代表の片岡さんも一年間の浪人（空席待ち）を経てメンバーになりました。

まずはこの春からの予定を紹介しましょう。

学習あり、体験あり、遊びありとバラエティーにとんだ、なんとも楽しそうなメニューが並びます。でも、「おとこの出番って、何をやるサークル？」と思った人もいる

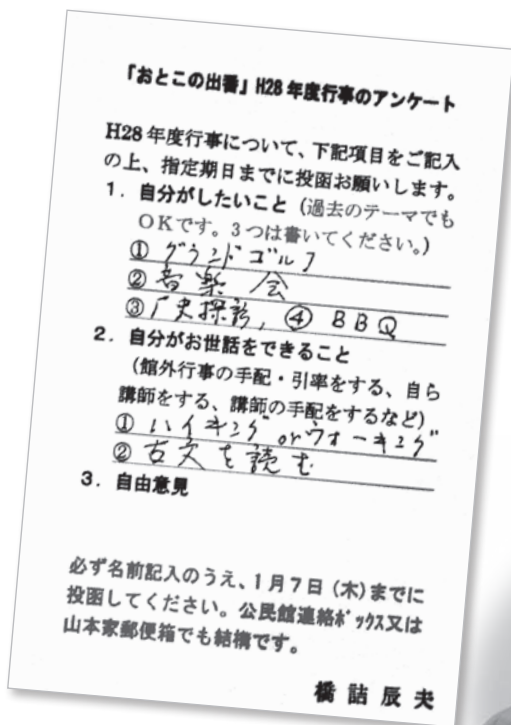


のでは。そう、おとこの出番は自分たちがしたいことをするサークルなんです。この辺りに長く続くコソもありそうです。

ここに一枚のアンケート用紙があります。設問は「①自分がしたいこと ②自分がお世話できること」だけ。つまり、「自分

- 4月 ウォーキング(沖島・長命寺)
- 5月 バーベキュー
- 6月 講演(認知症対策)
- 7月 そば打ち
- 8月 子どもの好きな科学実験
- 9月 歴史探訪(野路宿)
- 10月 グラウンドゴルフ
- 11月 鉄道博物館見学
- 12月 餅つき
- 1月 テーマ検討会(次年度のテーマ立案)
- 2月 古文を読む・懐メロ合唱
- 3月 講演(災害対策)

- 他にも
- 花見(4月)
 - 納涼懇親会(8月)
 - ふれあい祭り屋台出店(11月)
 - 忘年会(12月)



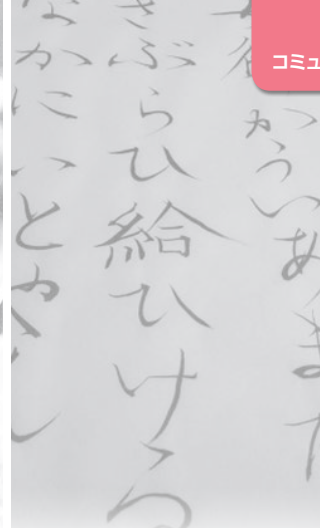
橋 詰 辰 夫

がこれまでにしたかったこと」と「自分が教えたり、手配したりできること」をメンバーから聞いて、それを事務局担当が組み合わせて年間メニューを決める仕組みなんです。だから先ほどのメニューにも毎月、主副のリーダー

が割り当てられます。この「自分たちがやりたいことを、みんなやっつけていこう」という考え方が引張るのではなく皆で分担するやり方は当時からずっと変わっていません。



写真：大條 紘史 (編集ボランティア)



イメージ

人の人生と自分の生活が つながるとき

ただ、企画を取りまとめる事務局の山本さんには苦勞もあります。「単純に意見の多い順に選ぶと、どうしても遊びが多くなります。少数意見も大切に、毎年、新しいことにも取り組みます。意外とみんな、新しいことやつてみたいと思ってるから文句は出ません。深すぎず、ちよつとかじるだけでも良い経験になるものです」。

例えば人気のバーベキューも単に食べるだけでなく、間に漢字クイズや紙ヒコーキ飛ばしといった工夫も挟み込むとか。時には、現役時代に培った知識や経験などをメンバーが講師となつて話してもらつて企画もあります。元銀行マンによる税金の話、県立種鶏場で種鶏の研究開発に携わつていたメンバーから聞く鶏や畜産の話。

「話が得意でない人も、講師だからつて気負うことなくトツトツと話してくれます。和気あいあいとした雰囲気です。その人が歩んできた人生と自分たちの生活がつながる話つて楽しいですよ。何でも遊びの延長です」。山本さんの言葉からは「おとこ

の出番」がもつ大人の人生の楽しみ方を感じます。

心地よくて 程よい距離感

もう少し、「おとこの出番」にみる人間関係について聞いてみました。「例えば20歳の人と15歳の人では、たつた5歳の年齢差でもなかなか付き合えないですね。うちのメンバーは60歳代から80歳代まで幅がありますが、この歳になると年齢差は気にならない。たとえ一回り違つてもギクシヤクしないし、居心地の悪さもありません。誰かに気を遣う必要もありません。肩書も敬語も使わない。互いに『○○さん』で呼び合つています。『なんとも心地よくて程よい距離感に』大人のサークル」という雰囲気があります。

おとこの出番では、活動の前に草津市民歌を歌うようにしているとか。♪ここから道がひらいてる。ここからみんなたちあがる♪



セカンドステージに入った「おとこの出番」の面々は、この歌詞をしながら、ここからまた素敵な人生が始まっています。同級生や仕事仲間と近所とはまた違つたな

がりが、ここにはあります。人との距離感を大切にしながら、培ってきた経験や能力を新たな楽しみにつなげるなんて、ちよつとかつこい生き方だと思いませんか。



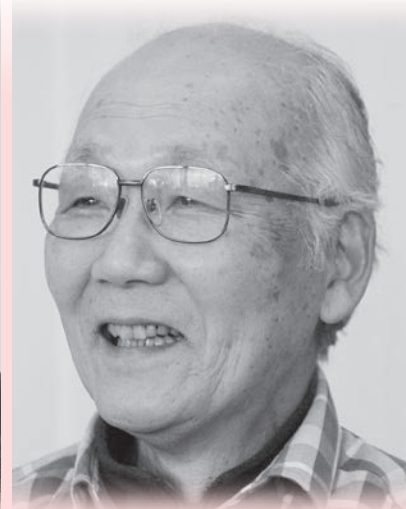
山本眞志さん

働いているところは会社と家の往復だけで、地域のことなど何も知りませんでした。ここでは、ちよつと離れたところの人と知り合いになれるのがいいですね。



片岡光徳さん

決まった日に行くところがある。話をする人や機会があるのは体にも心にも良いことだと実感しています。



橋詰辰夫さん

この会のメンバーと知り合えたことがうれしい。メンバーから借りた畑で家庭菜園にはまっています。

くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。

どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる今ドキご近所のちょとこなれた毎日。

楽しくも少し考えてしまう。もしかして…これって、みんなの問題かも。



さく・com-com / え・まんじゅう

おやじの出番

私 (com-com) のまちでは犬の散歩やウォーキングをしてくれる男性をずいぶんと見かけるようになりました。きっと定年を迎え、家にいる時間が増えたのだろうと勝手に想像しています。もう少し想像を膨らませると「みなさん、普段は何してるんだろう」なんておせっかいな疑問もあります。なぜか？かくいう私も現役世代の男性として自分の定年後の近所づきあいが気になる一人だから。

PTAや子ども会、スポ少など、子どもの成長とともに近所や地域でのつながりが広がっていく妻と隣近所の人すらほとんど知らない自分。どこか置いてきぼりを食ってる気さえします。「仕事、仕事」でこれといった趣味ももたない自分が、地域のみなさんと上手く、そして楽しくつき合えるのか今から不安いっぱいです。

実は私のような置いてきぼりを食っている男性は結構いるものです。きっとこれから長い時間を過ごす自分のまち、どうせなら仲良く、楽しく暮らしたい。余裕があるなら、できることでまちや誰かの役にもたってみたい。

でも、どうすれば良いの？結構、まじめな悩みです。

一方、まちでは「役の引き受け手がみつからない」「同じ人に負担が集中する」「高齢化で活動がままならない」など、困ったことは増えるのに手を打てないでいます。今日も目の前には男性が犬の散歩をしているのに、です。なんとも歯がゆいですね。とある調査*では「地域活動に参加しない理由」に対し「時間がない」「興味が無い」に続き「参加するきっかけがない」が第3位となっています。

そう、きっかけがないんです。退職した男性って仕事や趣味を通じて色々な能力をもっているもの。何かのきっかけでまちに関わって、そのうちまちの様子がわかってくると熱心に関わる人も出てくるはず。「うどんを打つ」というきっかけをつくって声かけをした、せん太さんの勇気。拍手です。

これってやっぱり、みんなの問題。

*内閣府「国民生活選好度調査」(2003年)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 「地域活動に参加しない理由」 | 1 時間がない(36%) |
| | 2 興味が無い(15%) |
| | 3 参加するきっかけがない(14%) |

That's 談



まだまだ、これから

「まだまだ、これから」についてのつぶやき・エピソードを集めてみました。

- 町内の公園にあるキンカンを甘露煮にして町内の人を買ってもらい、地域活動の資金にしています。町内には佃煮や漬け物の名人がいて皆にレシピを教えてくれて、ありがたい。
- 町内で道路にはみ出した樹木を家主に代わって切りました。「なかなか一人ではできなくて」と感謝された。
- お世話されるよりお世話する側の方がずっと楽しい。お弁当だって配られたものよりみんなが持ち寄りの方が、もっと盛り上がるはず。
- 立派な講師の話より退職者の会社勤め時代の失敗談や裏話など、それぞれが歩んできた経歴を聞く方がおもしろい。
- 電球交換・庭の草引きなど、高齢者の困りごとを1回500円くらいでするシステムが町内にあればなあ。
- 85歳。妻の病院通いのために免許を更新した。車を運転しないと生活できない。二人とも認知症になると手続きさえできなくなってしまった。
- 高齢になると誰かひとりだけを頼りにするのではなく、網の目のようにたくさんのつながりを持つことが大切。
- この歳になると町内のつながりが必要だと感じる。若いころは考えもしなかった。

まちセン登録団体も参加してまーす!



研修部会 ❖

講座や視察研修で、活動のステップアップ

● 視察研修

草津のまちを知ろう まちを歩く
～志津地区と草津川の歴史を聴く～

「自分が住むまちの歴史を知り、今を知ることにつなげよう」を目的に草津市観光ボランティアさんの協力でオランダ堰堤～小槻神社～クリーンセンターを視察しました。知っているようで知らなかった話も多く、人と人の多様な関わりや、私たちの日常生活(今回はエコや防災)にもつながっていると感じました。

また草津川跡地の開発が進むなか、改めて草津川の歴史や上流地域のことを知ることで草津川跡地の利用についてもアイデアが思い浮かぶ…。

そんな機会にもなりました。



施設部会 ❖

いつも使っていると気づかないけど、視点を変わると見えてくるものってたくさんあります。誰でも気軽に使いやすい、まちセンを目指しています。

● 落語会

普段、まちセンを利用しない人にも来てもらいたい。楽しいイベントを通じて交流の輪を広げたいと立命館大学落語研究会の協力を得て、落語会を開催しました。聞いて大笑い、聞き終わって大学生の裏話にまた大笑い。会場はとにかく笑顔いっぱいでした。参加者が学生に「この活動は就職活動にきっと役立つよ! 頑張ってるね」と激励の言葉をかけるシーンもありました。世代や地域を越えた交流の場が途絶えないよう、運営協議会は頑張ります。

情報部会 ❖

まちセンで元気に活動するみんなの様子を伝えます。

市民活動団体や各部会の様子・元気を皆さんに伝えたい…話し合い学び合いながらこの「みんなとめん・めん」の紙面をつくっています。これからもご期待ください。

みんなとめん・めん 通算49号

お問い合わせ先 ● まちづくりセンター ☎ 562-9240 ☎ 562-9340

✉ machi@kusatsu.or.jp

このコーナーは、まちづくりセンターの登録団体でつくる「運営協議会」が担当します。運営協議会は、それぞれ自身の活動から少し離れて「みんなの場所」としての、センターの役割やまちのことを考えながら、みんなで一歩ずつ成長する場所です。

みんなとまちづくりセンター
めん・めん

和・輪・What

みんなで盛り上げるセンター

まちづくりセンター運営協議会は登録団体(利用者)・草津市(所有者)・草津市コミュニティ事業団(指定管理者)のまちセンに関わる三者が話し合いや交流を深めながら「まちセン」を良くするための場です。すべての登録団体(現在56団体)が研修施設・情報の3つの部会に分かれています。部会の取組みは登録団体に限

らず、地域や教育機関・市内各施設個人・NPOなど様々な主体に声をかけ「協働」で実施することを大切にしています。まちセン開設時から続く、この継続的な取組みが活動を元気にする礎となっています。



広告掲載募集

本誌への広告掲載を希望する団体または企業を募集します。ただし企業の場合は本誌の趣旨を理解した上で、物品やサービスの販売でなく、企業の地域貢献や社会貢献の周知に限ります。(この広告掲載は事業団が行う市民公益寄付金制度における寄付金として処理させていただきます)

● 1回1枠(名刺サイズ)5,000円

【コミュニティくさつ】

● 約57,000部発行(年4回)

● 市内全戸配布のほか、市内公共施設や銀行等に配架

● 申込み・問合せ ● (公財)草津市コミュニティ事業団 ☎ 565-0477



株式会社 三井田商事

JR南草津駅前に移転しまして5年目を迎えました。弊社は京都府下及び滋賀県下でOA機器を販売し、自社でメンテナンスをしております。又、企業一般の方への水の宅配事業も展開しております。弊社も地域と共に発展したいと考え、

土曜出勤日には駅前及び会社周辺の清掃活動を実施しております。

今後も地域に貢献し、共に成長していけるよう日々努力して参りたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津1丁目1-5
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

より道 こ道

第4回 ● 野路の古道

「いつもの道、から
一歩それてみる。
大人にこそ寄り道の
時間が必要だ。」

〽旧街道の街並み〽

石田 はま子

草津の文化芸術活動の新しい拠点、草津クレアホールの横には幅2mに満たない可愛い道が新宮神社へと通じています。「おかさん道」と呼ばれています。

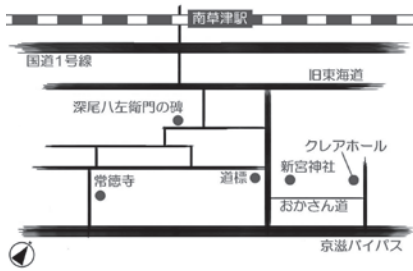
この野路は『源平盛衰記』や『平家物語』にも登場する中世の宿駅として栄えた地です。この道は、草津の追分から岡(栗東)を経て東国まで通じていたとの説もあり、ここを源平の武将たちが駆け抜けたかも知れません。

新宮神社は野路の氏神。重文の本殿や、移築された膳所城の水門、金毘羅講の常夜灯で知られます。鳥居前の道沿いには「右ふどう道」の道標が田上の不動寺へと導きます。草津に4基ある不動道を示す道標の一つです。湖南アルプス・太神山(600m)山頂にある不動寺へと多くの人が参詣しました。

道標に導かれるように進むと常徳寺の敷地となります。説明板には江戸時代に野路の金毘羅講の人たちによつ

て建てられた前記の常夜灯が、昭和39年の道路拡張までこの三叉路にあったことが記され、野路の人たちの信仰心がうかがえます。

三叉路から細道を旧東海道へと歩きましょう。途中の深尾家前の石碑は江戸時代、山手に農業用の池(八左衛門池)を開削した庄屋・深尾八左衛門の顕彰碑です。池跡は立命館BKCの一部となり構内に記念碑も建っています。市内でも旧街道の町並みが今も残る野路。中世から近世へと歴史に思いを馳せながら歩くと、心もユッタリとほぐれてきます。



スマイ印刷は、
自然環境を守る地球に優しい
製品づくり「エコ印刷」に
取り組んでいます。

SUMAI

株式会社スマイ印刷 sumaiprint.com

本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890
東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525
甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045

読売新聞

街の安心、安全、
教育、環境を
応援していきます。

草津五店会 TEL 077-568-2146

オススメ

草津のお花見スポット ロクハ公園 さくら茶会

4月3日(日) 13:00~15:00

ロクハ公園・多目的広場 *雨天時はロクハ荘

大正琴やよし笛の演奏
ポップコーンやフランクフルトの模擬店
玉川高校によるお抹茶の販売・お手前披露

問合せ ● 長寿の郷ロクハ荘 草津市追分7丁目11番1号

☎ 563-5021 ☎ 567-4269 ✉ rokuhasou@kusatsu.or.jp



平成28年度

まち活 マッチの会

予告

の会員を募集します!

毎年、公益財団法人草津市コミュニティ事業団では、下記の施設が取り組む様々な活動を協力支援していただくために、コミュニティ事業団ファンクラブ「まち活マッチの会」の会員を募集しています。

平成28年度も、みなさまの応援・ご協力をお待ちしています!



- ◇ 事業団の施設で行われる講座・イベントなどへ優先的に参加いただけます。
- ◇ まち活マッチノベルティグッズプレゼント



各施設の窓口にてお申し込みください。

継続会員にはさらにプレゼント



入会金 無料
年会費 1,000円

平成28年4月~
受付スタート!

クラブホール

アミカホール

ロクハ公園

ロクハ荘

なごみの郷

道の駅草津

問合せ ● 詳しくは企画総務課まで

☎ 565-0404 ☎ 565-1221

✉ community@kusatsu.or.jp

ロクハ公園

カブトムシ里親募集

生態観察を通して自然の大切さや生命の尊さを学ぼう。

募集人数 15人

対象 小学1~6年生

申込期間 4月5日(火)~16日(土)

一年を通して飼育観察ノートを書き、年2回の報告会に参加していただきます。

問合せ ● 草津市公園事務所(ロクハ公園)

草津市追分7丁目11番2号

☎ 564-3838 ☎ 564-4152

✉ park@kusatsu.or.jp



「エコ」はじめてみませんか。
ヒキタ事務機は環境を考えたエコ商品に力を入れています。

ないものを目指す
文具、画材、製図、書道用品からOA機器まで

総合事務用品
(株)ヒキタ事務機

〒525-0028 滋賀県草津市上笠三丁目17-9

TEL (077)563-8311

FAX (077)563-8340

URL <http://hikitajmuki.co.jp>



せの耳鼻咽喉科

草津栗東医師会の一員として地域の健康をサポート!

せの耳鼻咽喉科は、地域の健康づくりに貢献できる様日々努力していきます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前診 9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	—
午後診 4:00~7:00	●	●	●	OP	●	3:00 5:00	—

- ・耳鼻咽喉科一般診療
- ・日帰り鼻手術(副鼻腔炎、鼻づまり)
- ・レーザー治療
- ・アレルギー免疫療法

OP...木曜の午後は手術のみ

せの耳鼻咽喉科 検索

〒525-0023 滋賀県草津市平井1丁目19-6

TEL.077-563-8741

インターネット受付



見つけて ズキリ!

どっか ふるさと草津“変”

門出の4月。お兄ちゃん・お姉ちゃんに手をひかれ、真新しいリュックを背負った新入生にはワクワクドキドキな毎日が待っています。

草津市では14番目となる老上西小学校が開校し、気持ちも新たに子どもたちが新学期を迎えます。下のイラストには上のイラストとちがう部分が5カ所あります。まちがっている部分を答えてね。



イラスト：大村恵（編集ボランティア）

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。FAX、メールでのご応募もお待ちしております。

※切 **3月31日(木)** 当日消印有効

宛先

〒525-0037 草津市西大路町9番6号
 (公財)草津市コミュニティ事業団「コミュニティくさつ3月号」係
 ☒ com-com@mx.biwa.ne.jp
 ☎562-9340

プレゼント

正解者の中から抽選で道の駅草津レストラン「ベジカフェ」・「ベジショップ」の共通利用券(1000円相当)を5名様にプレゼント。

●道の駅草津13周年祭

4月2日(土)・3日(日) 10:00~16:00

模擬店・クイズラリーなど

- ・13周年記念キップ(非売品) 先着300名進呈
- ・あおばなほうじ茶 先着100名プレゼント

●お問合せ

道の駅草津 ☎568-3610

9:00~18:00

月曜休み(祝日のときは翌日)

前回の 答え



たくさんのご応募ありがとうございました。

※ご応募いただいた内容はプレゼントの発送および今後の誌面づくりに活用し、それ以外の目的で個人情報を使用することはありません。

ポイント

みんなの声と笑顔をお届けします。

今年こそチャレンジ



熊谷栄三郎の 徒然草津 つれづれくさつ

第20回

「たり苦しい」

その1

熊谷栄三郎



「原稿がたり苦しいなあ」。昨秋のこと、「コミュニティくさつ」を編集中の職員さんがそう言った。中年の男性である。

「たり苦しい」って？ 思わず、その言葉にとびついた。少しだけ足りないという意味だそうで、ご本人はいつも草津弁のつもりで使っているとか。が、私は草津に五十余年も住んでいるのに、聞いた覚えがない。育った丹波や京都市内でも聞いたことがない。

「たり苦しい」。足りなさそうで心配だ、という気持ち微妙にこもっている感じ。初耳でも意味が推測できる、いい言葉だと思おう。というわけで以来、半年ほど、この言葉の由来調べを楽しんできた。

「たり苦しい」という言葉を聞いた使ったことがありませんか？ 出会う人たちに片端から聞いてきた。診療所では先生や看護師さんに。公民館では集まっているみなさんに。飲食店では隣席の酔っぱらいに。

その数は、数百人になろう。分かつてきた。草津市民でこの言葉

を聞いた使ったことがあある人は、多めにみて十人一人あるかないか。京都や大阪から移ってきた人では、今のところゼロ。少数だが甲賀や野洲方面で使う人がいることも分かった。もちろん十数冊の方言辞典にも目を通したが「たり苦しい」なんて、見当たらない。

さてこれを草津弁、または湖南弁と言いついていいものか。私にはどうも地域での普及度が低いように思える。なんせ家族内でさえ、知っている者と知らぬ者がいるんだもの。たとえば、行きつけの理髪店で尋ねた時。

「ご主人がハサミを手に」わし、草津の街なかの生まれで、もう六十年も暮らしているけど、そんな言葉、聞いたことないわ。すると店内を整理していた奥さんが「私は、知ってる。ほら今朝も、義姉さんが、米がたり苦しいから貸して、いうて来はったやんか」。

「たり苦しい」よ、お前はいったい何者？ 行数がたり苦しいので、次回へ続く。

編集後記

- 今年の年賀状。「我が家の近くでは、今春に開校する小学校建設の槌音が響き渡っています」と出すと 郷里からは「母校閉校記念式 2月」と返されました。複雑な気持ちで迎えた今年の正月です。(辻浦)
- いろんなところで、多くの退職者の皆さんの工夫を凝らした活動・活躍を見るにつけ、頭の下がる思いがしました。(大條)
- 田植えの終わった風景はまさに湖の国、電車は水の上を走るようです。遠いところに出かけたくなる5月が待ち遠しい。(中井)
- スクールガードの際にウォーキング帰りのAさんが道路や溝のゴミを拾っている姿を見かけた。毎日なかなかできることではない。「ありがとう」と声をかけると私の心もきれいになった。(水谷)
- 国道一号線の草津川隧道上り線側が解体されました。頑丈で長くかかっていました。扁額は切り取られ大切に残されます。80年間ありがとう！(石田)
- 地域が高齢者ばかりになり役員が回ってきました。いったん引き受けると肩書がたくさん付いてきて会議だらけでクタクタ。役割を分担してみんなが関わられるようにと願います。(大村)
- どんなにエネルギー消費を節約しても地球温暖化はもう止まらないと学者は言う。でも、風呂の残り湯を再利用し暖房も切る、孫の孫の世代の為に。おお寒い！(橋詰)

「コミュニティくさつ」は、 みんなでつくる まちづくり情報誌です！

市民編集ボランティア

「コミュニティくさつ」は市民の皆さんと共に作成発行しています。本誌の企画、取材、寄稿、配布などを一緒にしてもらえ市民編集ボランティアを募集しています。写真やイラストが得意な方も大歓迎。

- 編集会議(3か月に1回)で意見を出してくれる人
- 取材同行や寄稿をしてくれる人
- 写真やイラストを提供してくれる人
- 自身の町内会や団体メンバーに本誌を配布してくれる人



● 申込み・問合せ ●

(公財)草津市コミュニティ事業団
まちづくり振興課内
コミュニティくさつ編集部

Peacemom Project × 草津市コミュニティ事業団



- 1,2 終了
- 3 3月23日(水) 好きなこと、やりたいことからつながる仲間づくり
- 4 4月27日(水) 資格をとりたい!資格を活かしたい!
- 5 5月11日(水) 働き方を考えるママのための就活

定員 ● 各15名
参加費 ● 500円
(ドリンク&スイーツ付き)

*すべて場所は草津クレアホール 時間は10:00から

● 申込み・問合せはすべて ● (公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課 〒525-0037 草津市西大路町9-6
☎ 565-0477 ☎ 562-9340 ✉ com-com@mx.biwa.ne.jp

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費削減などで得る独自の収益金のほか、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

